

生き水

重力をうけいれ
地に伏した 枝のそこかしこで
かたくなだった花の芽は
ウロコの鎧をぬぎ
ういういしい紅の衣が
丸い蕾のほころびからのぞいている

こごえる冬の去りゆく足音がし
春を身ごもったよろこびを
鳥はうたうのに
いつかの雷に撃たれ
根もとまで裂けた幹は
むしばまれて空洞となり
息をしているのが不思議なくらい

青ざめて苔むす樹皮の
辛うじてすこやかな細胞のあいだから
枝先へと絶えず 生き水はかよう
暗い 土の下をはしる根が朽ちて
湧き出すものをくみ上げる力が
尽きはてるまで
あなたを心底 支えるものは
花咲けよと満ちつづける